

会 議 録

会 議 名	第54回 野田市史編さん委員会会議
議題及び議題毎の 公開又は非公開の 別	1 副委員長の選出について（公開） 2 平成30年5月から平成31年4月までの活動状況について （公開） 3 令和元年度市史編さん事業計画及び予算について （公開）
日 時	令和元年5月29日（水） 午前10時30分から午前11時20分まで
場 所	野田市役所 2階 中会議室2
出席委員氏名	委員長 鈴木 有 委 員 飯塚ひとみ 委 員 石田 年子 委 員 上原 初江 委 員 上山 和雄 委 員 北城 昭夫 委 員 木原 徹也 委 員 下津谷達男 委 員 鈴木 淳一 委 員 山下弘太郎 委 員 佐藤 裕 委 員 所 恵美子 委 員 肘井 政子
欠席委員氏名	無し
事 務 局	佐賀 忠（総務部長） 宮崎 等（総務部主幹(兼)市史編さん担当） 宮内友行（総務課主査(兼)市史編さん担当） 井上 薫（総務課主任主事(兼)市史編さん担当）
傍 聴 者	無し
議 事	
<p>第54回 野田市史編さん委員会会議の会議結果（概要）は、次のとおり。</p> <p>宮崎主幹：本日はお忙しい中、御出席いただきありがとうございます。ただ今から「第54回 野田市史編さん委員会」を開会します。市史編さん委員会設置</p>	

条例第6条第2項により、半数以上の出席で会議成立。本日は13名全委員出席しており、会議が成立していることを御報告します。

会議の公開につきましては、個人情報等（野田市情報公開条例第6条に規定する不開示情報）の不開示情報を取扱うことがありませんので、公開とします。

なお、審議をいただく案件の中に、個人情報等が含まれる場合には、その都度、委員長より委員にお諮りし、非公開の決定を行います。

また、会議資料及び会議録は、市役所1階の行政資料コーナーに配置し、閲覧できるようにしますので、御了承願います。

次に、資料の確認をお願いします。よろしければ進めます。

最後に、会議の内容は、会議録を作成するために録音しますので、御了承願います。

それでは本委員会委員長である、鈴木有市長より、御挨拶申し上げます。

鈴木委員長：皆様方本日は大変お忙しい中、野田市史編さん委員会に御出席をいただきましてありがとうございます。

また、日頃皆様方には市政の発展のために、御尽力御協力いただいておりますことにつきましても、御礼を申し上げたいと思います。

今回、市史編さん委員に再任をいただいた9人の委員の方を始め、新たに公募の3号委員として、所 恵美子委員、肘井政子委員。また、1号委員として、千葉県立関宿城博物館の鈴木淳一館長に御就任をいただきました。この後、皆様方に委嘱書の交付をいたしますので、よろしくお願ひしたいと思います。

さて、野田市史編さん事業では、市史編さんの基礎となる『野田市史 資料編』全9巻の刊行を計画しておりますが、本年2月に『近現代2』を刊行いたしましたので、『資料編』に関しては、残り3巻となりました。

特に、残りの『資料編』では、関宿地域の資料を多く掲載する事となりますので、古文書などの歴史史料や、先人から受け継がれてきた、地域に密着した伝統文化の記録なども広く収集するため、野田市史編さん委員会の委員の皆様方のお力添えを、又お知恵を拝借したいと思っております。そのこと

によりまして課題を克服しながら事業を進めてまいりたいと思っておりますので、何卒よろしくお願ひしたいと思ひます。

今後とも、御指導・御鞭撻のほどを、よろしくお願ひ申し上げまして、挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願ひします。

委嘱書交付・委員紹介

宮崎主幹：なお、本日は現時点で傍聴者はありませんが、審議途中で傍聴の希望がありました場合は、入室いただくこととなりますので御了承願ひます。

それでは、市史編さん委員会設置条例第 6 条により委員長が議長となる旨が規定されているので、委員長に議長をお願ひ申し上げます。

1 副委員長の選出について

鈴木委員長：それではただ今から、議事に入ります。御協力のほど、よろしくお願ひします。

市史編さん委員会設置条例では、副委員長は 2 人で、委員の互選となっておりますが、副委員長の選出について、お諮りします。選出の方法につきましていかがでしょうか。

木原委員：指名推薦がよろしいかと思ひます。

鈴木委員長：ただ今指名推薦という発言がありました。いかがでしょうか。

委員（複数名）：異議無し。

鈴木委員長：御異議無しと認めまして指名推薦ということで、それではどなたか推薦をお願ひします。

木原委員：今までどおり、下津谷委員と佐藤教育長にお願ひしたらいいかと思ひますが。

鈴木委員長：ただ今下津谷委員・教育長の御指名がありました。ほかに御意見ありませんか。……よろしいですか。それでは、下津谷委員並びに佐藤委員ということでよろしいでしょうか。

委員（複数名）：異議無し。

鈴木委員長：はい、御異議無しと認めまして、下津谷委員・佐藤委員に副委員長としてよろしくお願ひしたいと思ひます。

2 平成30年5月から平成31年4月までの活動状況について

鈴木委員長：次に、議題2「2（前回会議を開催した）平成30年5月から平成31年4月までの活動状況について」に入ります。事務局から説明をお願いします。

宮内主査：（別紙資料により、以下について説明）

（1）市史編さん事業実績

（2）各専門部会別の活動状況

鈴木委員長：ただ今の報告について、何か御質問や御意見などありましたら、お願いします。

上山委員：平成30年5月14日「廃棄対象歴史的公文書抽出作業」では（事務文書箱で）29箱ということだが、廃棄対象29箱から抽出したのか。

宮内主査：廃棄対象文書の総量は把握していないが、抽出して集約した結果、29箱となりました。

上山委員：そうですか。もっと多い中から選んだものが29箱ということですね。選んだ後、今後の見通しみたいなことは、どこが中心となって検討するか、ということはどうですか。

宮崎主幹：廃棄対象文書に関しては、歴史公文書として将来使用する可能性のあるものということで、以前からいくつかの毎年同じ項目、あるいは、その年の特徴のあるものを選んで、それが29箱分になっています。

各課では、廃棄年度に達するものがフォルダー式になっており、各フォルダーに事業ごとに挟んでいるような状態ですので、個別名称という形では一覧がございまして、その一覧の中から対象のものを選んで、個別フォルダーの名称でどういったものが入っているかは、現状でも確認ができる状態です。ただ、（フォルダー内）一個一個の点数については、細目はとってはおりません。毎年こういった形で20箱程度が出てきますので、回収したものの目録を整理しているのですが、個別の内容のチェックですとか、その先の選定には、手が付けられていない状態です。今後こういった形での活用をするのかということも検討したいと思っているのですが、現状では廃棄でなくなることを止めているという状況です。

上山委員：歴史公文書としてピックアップしたものが（本庁舎）地下の書庫に

ずっと入っていると……

宮崎主幹：地下書庫の方は本庁の現用の公文書がたくさん入っているので、そこから廃棄対象のものを一旦集めまして、その中からピックアップして、それを関宿のいちいのホール、旧関宿町の役場の地下に収蔵庫がありますので、そちらに移動させて保管をしている状況です。

下津谷委員：よろしいですか。私は上山先生から、この質問が出たのでびっくりしたのですが。この29箱は上山先生たちが、御覧になって、それで選んだと思っていた。ところがそうではないようですね。今の話では。

上山委員：申し上げますと、何年前まででしたか？

宮崎主幹：よろしいでしょうか。近現代部会の委員の方々、皆様集まって廃棄文書をピックアップする時間がとれなくなってきたものですから、こういった項目で集めるようにと御指示を頂て、集めるような形をとらせていただいております。

上山委員：最初は、何年か前までは私たちが実際に地下に入って、リストを見て、チェックをしてから引き抜いてという形でやらせていただいていたのです。途中から、何年か前から事務局の方をお願いする、今までの集積というか、蓄積というかを参考にして進めていただいている、そういう状況です。

もう一つ付け加えますと、野田に関しては明治期からの公文書、歴史公文書というのがきちんと残っている、ところが、今度は『資料編 近現代3』でもって対象とする関宿町に関しましては、ほぼ完全に何も残っていません。行政文書、議会の議事録、それから議会に提出した様々な原案も何もない。あるのは昭和40年ぐらいからでしょうか。それ以前は全くない、そういう状況です、さてどうするか、余分なことですが。

是非公文書を、きちんと残していただくという、そういう仕組みを作っていただきたいということをお願ひしたいと思っております。

石田委員：（関宿）元町の地図、絵図が出たのは、ちょっと驚いた。私今、関宿城でちょっと宣伝になってしまうが、「野田周辺の石仏」というパネル展に協力しまして、写真は全部私のだが、元町の愛宕地蔵も出しているのですが、これは中世の北条氏が合戦で（この地を）とった時に、あそこに愛宕権現堂を建てることで、そこで市を開いてもいいよという安堵状が遺っている。なので、將軍地蔵を作ったのは江戸（時代）の初期ですけども、もとも

との信仰自体は中世からあったということが、これで証明できる。だが、今の地図だとその愛宕堂がどこにあったのか、（江戸川の河川改修工事で）削られていて、明治の迅速図を拡大しても、全くわからなくて。元町は中世にかなり町場として栄えた場所なので、どういう様子だったのかと、愛宕堂がどこにあったのかも知りたいのですが、その辺り分かりますか。

宮内主査：その辺りは気になったので見てみたのですが、明確には分らなかった印象があります。

石田委員：削られる前の地図、絵図ですよ。元文だと。

宮内主査：機会を設けて御覧になっていただくことは可能です。道路が不自然に川にぶつかっていたような印象がありますので、若干は削られていたのではないかと思います。

石田委員：行人河岸という河岸もあった、要するに痕跡がもう全部削られてないので、昔どうだったの。というのがあったものですから、でも少しでも残っていれば、見せていただければと。

宮内主査：はい。

石田委員：よろしく申し上げます。

下津谷委員：上山先生さっきの続きだけれども、その公文書の保管について事務局と話し合っていて、やはり研究者の目を通してそれで保存保管の方法を考えた方がいいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

上山委員：はい。

鈴木委員長：よろしいでしょうか。はい、ほかにございますか。それでは、ただ今の報告につきましては、御了承いただいたということでよろしいでしょうか。

委員（複数名）：異議無し。

鈴木委員長：はい、よろしくお願ひいたします。

3 令和元年度市史編さん事業計画及び予算について

鈴木委員長：次の議題に入ります。議題3「3 令和元年度市史編さん事業計画及び予算について」事務局から説明をお願いします。

宮内主査：（別紙資料により、以下について説明）

（1）令和元年度市史編さん関係予算の説明

(2) 令和元年度の各部会別事業計画(案)について

(3) その他の事業(案)について

「野田市史研究」(第 30 号)の刊行について

第 28 回市史講演会の開催について

鈴木委員長：ただ今、事業計画等について説明がありました。何か質問がありましたらお願いします。よろしいですか。

委員(複数名)：はい。

鈴木委員長：それでは、事業計画並びに予算につきまして、御了承することに、御異議はございませんか。

委員(複数名)：異議無し。

鈴木委員長：御異議がないということで、御了承いただいたこと報告いたします。最後になりますが何かございましたらお願いします。

宮崎主幹：お願いします。本日お配りした資料の中に野田市の編さん計画と刊行計画案という 2 枚綴じがあります。前回会議の中でも刊行計画の見直しという話をいたしました。『資料編 近現代 2』の刊行等が終わった段階で、若干委員の方の御退任とか入替え等もあります。それと近世の資料編、江戸時代の物の収集等も進めておりますが、先ほど関宿町の話がありましたが、史料を集めるのに苦慮している部分もあります。そういった中で各部会の状況を調整しながら、今この計画案の方で調整を図っている段階です。もう一度各部会の調整を終えた段階で編さん委員会の方に御報告しまして、再度刊行計画案の見直しについて御審議いただきたいということで、進行していることを御報告します。以上です。

鈴木委員長：委員の皆様方、何かございますか。よろしいですか。それでは、以上で議事を終了します。委員の皆様には市史編さん事業に対しまして今後ともお力添えをよろしく願いいたします。ありがとうございました。

委員(複数名)：ありがとうございました。

宮崎主幹：以上をもちまして、「第54回野田市史編さん委員会」の会議を閉会します。御出席ありがとうございました。